

令和3年度  
地域まちづくり活動助成金  
活動成果概要



令和4年3月  
東大阪市 市民生活部  
地域活動支援室



## 目次

『地域まちづくり活動助成金』の概要 .....	1
各交付事業の成果一覧 .....	2
活動成果概要 .....	3-40

## 『地域まちづくり活動助成金』の概要

地域まちづくり活動助成金制度は、東大阪市の地域資源の活用や地域課題の解決に向けたまちづくり活動の活性化を図り、わがまちとして愛着と誇りの持てる市民主体の魅力ある地域づくりを目的としています。

スタート支援部門	立ち上げて5年未満の団体が、活動基盤を整えたり、新たな事業を始めたりするのを支援する助成金。
事業チャレンジ部門	団体が、将来に亘って自立・継続して活動するための事業への助成金。

### ○選考方法

スタート支援部門	書類と面接
事業チャレンジ部門	書類と公開プレゼンテーション

いずれも「東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会」において採択団体や助成金額などを審査します。

### ○審査基準

- ・事業の公益性 ・事業の実現性 ・事業の創意工夫・先駆性
- ・事業の発展性 ・組織の健全性 ・他団体、企業、行政機関などの協働性

## 令和3年度東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会委員

令和3年度は、下記の審査委員により審査を行いました。

	氏名	選出団体及び役職
会長	吉田 忠彦	近畿大学 経営学部 教授
副会長	有田 典代	国際文化交流協会 事務局長
	田中 晃代	近畿大学 総合社会学部 教授
	藤江 徹	あおぞら財団（公益財団法人公害地域再生センター）事務局長
	太田 恭子	東大阪市 市民生活部 地域活動支援室長

## 各交付事業の成果一覧

	申請区分	団体名	申請事業名	ページ番号
1	スタート支援	Eastrickster	家庭学習&ものづくりプロジェクト ー勉強が好きになる！おうち学習の新提案ー	3
2	スタート支援	くさかピンポン同好会	地域住民の拠点である公民分館(地域拠点の活性化)を活用して、子どもから、障害者、高齢者、外国ルーツの方、どなたでも楽しめる 全地域住民交流卓球同好会	5
3	スタート支援	やどり木	孤育てを防ぐために0歳～15歳までの子育てを繋ぐ	9
4	スタート支援	特定非営利活動法人多言語・多文化サポートICHI	共に知る、学ぶ、交わる地域になろう ー外国人住民が必要としている支援を行うためにー	13
5	スタート支援	サロンとまり木	サロンとまり木 「健脳教室」	15
6	スタート支援	NPO法人 リード	放課後ラグビー教室(コーディネーショントレーニング)	17
7	スタート支援	石切のわ	石切地域活性化事業	21
8	スタート支援	ペット防災サポート協会 関西支部	人とペットのぼうさい 楽しみながら自分で考える・備える・つながる IN東大阪	23
9	スタート支援	まなびや通りフェスタ実行委員会	まなびや通りフェスタ リアルマインクラフト「みんなで作る長瀬のまち」	25
10	スタート支援	スマイルマミー	菜の花フェス～ままのわを広げよう～	29
11	事業チャレンジ	特定非営利活動法人東大阪国際共生ネットワーク	新しい外国人との歴史・文化やモノづくりの見学会 (コロナ感染・新しい外国人の増加を踏まえた新たな国際交流に結び付ける)	31
12	事業チャレンジ	ロンド健康運動プロジェクト	「てくてく健活教室」 障がい者の健康運動教室を通じたインクルーシブなコミュニティづくり	37
13	事業チャレンジ	東大阪中・高校生演劇ワークショップ実行委員会	2021年 東大阪中・高校生演劇ワークショップ	39

## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	家庭学習&ものづくりプロジェクト ー勉強が好きになる！おうち学習の新提案ー		
団体名	Eastrickster		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で暮らす子どもたちが家庭環境に関わらず平等に学習の機会を得られるしくみを提供すること</li> <li>・加えて東大阪の町工場で生まれる廃材を再利用した取り組みによる廃材の削減を目指す。</li> </ul> この2つを両輪とし、「地域でこどもを育てる」東大阪市を実現する。
	内容	「地域で子どもを育てる」をコンセプトに子どもたちへ学習課題を提供。課題と共に東大阪の町工場から出る余剰素材を活用した創造性のあるものづくりキット素材を届け、4週間を1サイクルとしてキットが完成するしくみ。

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回モデル運用 参加者 18名</li> </ul> 対象：小学3・4年生 対象校区：花園北・花園・玉串・英田南・玉川小学校区 実施期間：9/28～10/26の毎週火曜日計5回、課題ともものづくりキットをお届け
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回モデル運用 参加者 13名</li> </ul> 対象：小学5・6年生 対象校区：花園北・花園・玉串・英田南・玉川小学校区 実施期間：2/8～3/8の毎週火曜日計5回、課題ともものづくりキットをお届け  実施期間中、毎週日曜日には封入作業、毎週月曜日には課題の添削活動などを実施。

<b>目 標</b>	<p>&lt;申請時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で暮らす子どもたちが家庭環境に関わらず平等に学習の機会を得られるしくみを提供すること</li> <li>●継続的な学習の機会を提供することで、子どもたちが自宅で勉強する習慣を自然と身につけること</li> </ul>	<p>&lt;事業実施後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●取り組みを継続的に実施していくための仕組みをつくること。</li> </ul>
<b>事業の成果・効果</b>	<p>アンケートの回答を見ると、多くの保護者と子どもたちがこのプロジェクトに期待し、毎週の課題ともものづくりキットが届くのを楽しみに待っていてくれたかがわかる。大阪樟蔭女子大学からご提供いただく教材が工夫されており学習意欲につながる内容であることもさることながら、ものづくりキットのパーツが届くのを楽しみに課題をこなしているという子も多数おり、予想以上の相乗効果があったことが伺える。</p> <p>一方で、子どもの学習に興味関心を割く時間的（または経済的）余裕のない家庭にはなかなかプロジェクトが届かず、本来届けたい子どもたちのところへ届けられなかったという反省も生じた。</p>	
<b>今後の事業展開</b>	<p>アンケート結果からは継続を希望する声が多数あり、継続する意義は大きく感じている。</p> <p>しかしながら取り組みを継続するためには、私たちの拠点となる場所およびボランティアの人材確保が必須。</p> <p>継続性をもった活動へと展開していくためにも、持続的な仕組みを整えていく。</p> <p>また、協力していただける地域団体や企業を確保したうえで、東大阪市全域へと対象校区を広げていきたい。</p> <p>さらにはこのプロジェクトをシステムとして構築し『ものづくりのまち東大阪』を、児童教育の側面から市内外へアピールしていくことも目標としている。</p>	



## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	地域住民の拠点である公民分館を活用（地域拠点の活性化）して、子どもから、障害者、高齢者、外国ルーツの方、どなたでも楽しめる 地域住民交流卓球同好会		
団体名	くさかピンポン同好会		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	120,000 円

事業の目的・内容	目的	昨年夏よりコロナ感染への不安が高まり、自宅待機が続く中で高齢者の方を中心に地域では「運動不足による筋力低下、さらには転倒骨折へとつながる方」、「ストレスからうつ状態になる方」、なかには「デイサービスの中止、参加の不安から自宅待機している親の介護を、四六時中担う介護者のストレスからの虐待（介護者支援の場がない）」などが懸念されていた。そういった方への支援（ストレス発散）の場を設けるに至った。その後、住民間で卓球への関心が高まり、様々な世代の、様々な方々の交流の場へと対象者を広げて行いたいと思うようになった。
	内容	我々は①コロナ禍での運動不足・ストレス解消の場として、②高齢者だけでなく、お体のご不自由な方、幼児・学童・学生が共に楽しむ場（世代間交流）として、③地域には児童・高齢者だけではない、多くの障害者や外国ルーツの方々も住まわれている、そういう方々との交流の場（共生社会）として、現在のハッピークラブ（親睦団体）を、①②③といった地域課題に取り組む団体へと成長して行きたいと考えている。

## 活動実績

地域まちづくり活動助成金決定を受け、速やかにチラシを作成し、自治連合会のご協力を得て、孔舎衛校区全7自治会で回覧を実施していただいた。また校区内の掲示板に掲示や孔舎衛小学校、孔舎衛東小学校、孔舎衛中学校の各校長にご挨拶に伺い、活動実施の報告を行った。

その成果か、我々の予想を上回る申し込み（チラシを見て、という方々や口コミ）を受け、8月は週2回開催であったが、9月後半からは毎週開催へ変更(第2週・第4週なら参加できるから開催してほしい、との要望もあった)行った。

しかし、オミクロン株感染拡大が顕著となった1月からは参加者の足が遠のき、まん延防止措置実施を受けて2月いっぱい中止することとした。以下は、令和3年8月1日から令和4年1月末までの活動実績を一覧で報告する。

## ①実施活動一覧表

実施日		実施場所	参加人数	60才以下	60才以上	スタッフ
8月	1日	孔舎衛公民分館	5	4	1	4
	22日	孔舎衛公民分館	8	0	8	3
9月	5日	孔舎衛公民分館	6	5	1	2
	19日	孔舎衛公民分館	8	4	4	2
	26日	孔舎衛公民分館	12	0	12	3
10月	3日	孔舎衛公民分館	4	1	3	1
	10日	孔舎衛公民分館	15	0	15	2
	17日	孔舎衛公民分館	11	7	4	1
	24日	孔舎衛公民分館	8	0	8	2
11月	7日	孔舎衛公民分館	11	7	4	1
	14日	孔舎衛公民分館	6	0	6	1
	21日	孔舎衛公民分館	11	7	4	1
	28日	孔舎衛公民分館	6	0	6	1
12月	5日	孔舎衛公民分館	10	6	4	1
	12日	孔舎衛公民分館	8	0	8	1
	19日	孔舎衛公民分館	11	8	3	1
1月	9日	孔舎衛公民分館	8	0	8	1
	16日	孔舎衛公民分館	4	3	1	1
	23日	孔舎衛公民分館	7	0	7	1
		合計	159	52	107	30

目 標	<p>＜申請時＞</p> <p>さまざまな方々が地域の拠点である公民館に集い、交流し、ストレス発散を図る場を設ける</p>	<p>＜事業実施後＞</p> <p>校区内の住民相互の交流の場として認知していただけるように、活動を継続する</p>																					
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>上記「実施活動一覧」と下記「アンケート結果」を踏まえ、当会が当初立てていた目的である、（高齢者を中心に）若い方の公民館利用の機会を設けること、コロナ禍でのストレス解消の場を設けること、に貢献できたと考える。 .....</p> <p>アンケート結果（回答数： 102件）</p> <table border="1" data-bbox="308 696 1291 831"> <thead> <tr> <th>参加しての感想</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>未回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答数</td> <td>85</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>83.3%</td> <td>7.8%</td> <td>1.0%</td> <td>2.0%</td> <td>1.0%</td> <td>4.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>代表的なコメント</p> <p><b>【体を動かす機会となった】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ下で家に閉じこもっていたが、体を動かす機会となった</li> <li>・コロナ下で汗をかく、ということが無くなっていた。汗がかけて気持ちよかった</li> <li>・ピンポン（卓球）を若いころしていたので、楽しい、生きがいの一つになる。</li> <li>・体を動かし、声を出すので精神的にも、肉体的にもすばらしい</li> <li>・ピンポンならハードでもなく、マスクをつけながらも楽しめるのでストレス発散になった</li> </ul> <p><b>【外出する機会となった】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビやゲーム、漫画、スマホで過ごしことが多くなっていが、</li> <li>・外出の機会を作っていただいて感謝しています。これからも長く続け下さい。</li> </ul> <p><b>【交流の機会となった】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人との交流が出来て、楽しく過ごせる</li> <li>・家族同志、また他家族との交流ができて楽しい</li> <li>・家族ファミリーで楽しく、孫から祖父母も入り絆が深まった。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルもあり、基礎のこともイラストや写真で教えてくれてよかった。</li> </ul>		参加しての感想	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	未回答	回答数	85	8	1	2	1	5	%	83.3%	7.8%	1.0%	2.0%	1.0%	4.9%
参加しての感想	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	未回答																	
回答数	85	8	1	2	1	5																	
%	83.3%	7.8%	1.0%	2.0%	1.0%	4.9%																	
今 後 の 事 業 展 開	<p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はコロナ禍の影響で、多数の家族での参加や障害者団体、外国ルーツの方々への広報（声かけ）が出来なかった。</li> </ul> <p><b>【事業展開】</b></p> <p>コロナ禍で実施出来なかった課題を踏まえ、地域住民が自分たちの町は自分たちでつくる、という機運を高め、①新たなグループ『シニアピンポン同好会』の立ち上げと、②小学生や中学生、また障害者等の公民館をまだ利用したことのない方への参加を呼び掛ける企画に取り組みたい。</p>																						

\*活動内容がわかる写真を添付してください。

(家族での参加グループの様子)



(年長者の方々の参加の様子)



## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	孤育てを防ぐために0歳～15歳までの子育てを繋ぐ		
団体名	やどり木		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ渦の孤独な子育てを防ぐ</li> <li>・子ども同士、親同士の繋がりをつくる</li> <li>・子育てに悩む保護者の話を聞き、必要があれば専門家へ繋ぐ</li> <li>・交流を増やすことで情報の共有をおこなう</li> <li>・不要になった育児アイテムを必要な人に届け人と物を繋ぐ</li> </ul>
	内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 未就学児の交流（0歳～6歳ママのおしゃべり会や公園遊び）</li> <li>2. 小中学生保護者の交流会（小中学生ママのおしゃべり会）</li> <li>3. 足育、性教育、食育の講座の実施</li> <li>4. ハロウィン、クリスマスなどのイベントや地域交流の実施</li> <li>5. リユース会の実施</li> </ol>

活動実績	<p>今年度前半は公園などで未就学児交流を中心に活動を開始し、徐々に市の施設を利用した活動を増やしました。そのため、2/25時点で、事業内容の5項目（1～5）を48回開催（月平均4回）し総数673名が参加しました。（※報告書提出後にあと8回活動予定。またコロナ渦により中止になった活動も多数）</p> <p>10月のハロウィン会は約80名の参加があり、活動の周知してもらう大きなきっかけになりました。その結果、12月のクリスマス会では、予約開始1週間足らずで、100名近い申し込みがありました。そのため、会場を2度追加し4会場を用いて感染対策をとった上で開催に至りました。</p> <p>リユース会については、活動やイベント時に開催し、不要なアイテムを持ち込み、必要な方が自由に持って帰るようにしました。アイテムを持ち帰る方に募金の協力をしてもらい、集まった募金からアイテムを持ってきた方へ金券を渡し、モノと人とお金の循環の仕組みを作りました。また、常時、受け渡しの対応もしており、10件ほど個別に対応しました。</p>
------	--

<p>目標</p>	<p>&lt;申請時&gt; ①交流会活動の延べ人数が毎月50人以上 ②育児講座の参加者が毎回満席</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; ①11ヶ月のうち5ヶ月達成 達成率 45% (平均参加人数は 61人) ②8回のうち2回達成 達成率 25% (平均参加数は 90%)</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<p>情報発信を SNS と公式ラインを駆使することで、LINE 登録者が目標の100名を達成しました (インスタのフォロワーは 500名に到達)。登録目的は、6割が活動全体、3割弱がリユース会でした。また、紙媒体からの情報発信を行うため、行政施設 6箇所と子育て支援センター3箇所にチラシの設置を依頼しました。そして、掲示板は東地区に 2箇所設置しましたが、紙媒体から情報の得た方は全体の 2割程度でした。</p> <p>プチハロウィンやクリスマス会の開催により、徐々に参加者も増え現在リピーター率は 41%になりました。参加者間で顔見知りが増えきており、活動開始の頃と比べ、会場の雰囲気や和やかに、表情豊かに交流されている方が増えてきました。</p> <p>この 1年を通し、子育ての悩みを相談するまでの関係性はまだできておらず、専門家につなぐ取り組みはできていませんが、孤独な子育てを防ぐために、交流し繋がりを築くことは少しずつできました。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>今後も、5項目の活動を継続し、孤育てを防ぐためにたくさんの親子同士が交流するきっかけを作りながら、地域との連携を考えています。近隣小学校の学校長と話をし、来年度は活動と学校の連携も機会をみて実施予定です。また高校で“金銭教育”が必修化されることも見据え、民間のフィナンシャルプランナーと連携し、育児講座に金融教育(キッズマネー講座など)を取り入れる予定です。</p> <p>そして、未就学児の活動にも力をいれるために、4月より毎週、固定曜日での活動を予定しています。情操教育や環境教育も兼ね、以前から連携している地域の学校の畑で、土に触れ合う取り組みを増やしていきます。</p> <p>まだまだ、知名度も低い活動ため、引き続き様々な場所(保健センターやつどいの広場や商店街など)にはたらきかけ、東大阪が子育てのしやすい市になるよう活動していきたいです。</p>	

\*活動内容がわかる写真を添付してください



命と性のお話会



クリスマス会



プチハロウィン 制作



親子向け リトミック



【参考資料：月別の活動実施回数と参加人数】

	1	2	3	4	5	小合計	参加人数
	ひつじ	交流会	講座	イベント	リユース		
4月	5		1	1		7	73
5月	4			1		5	40
6月	3			2		5	58
7月	3			2		5	36
8月	2		1	2		5	72
9月			1			1	7
10月	2	1	1	1	開催	5	107
11月	1	1	1	2		5	85
12月	0	1		2	開催	3	136
1月	1	1				2	17
2月	1	1	3			5	42
小計	22	5	8	13	0	48	673
中止	1	1					
参加人数	227	91	103	252			673



令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

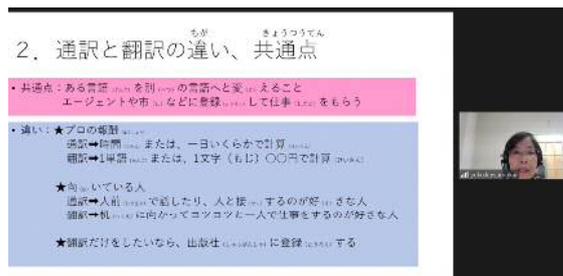
事業名	共に知る、学ぶ、交わる地域になろう —外国人住民が必要としている支援を行うために—		
団体名	特定非営利活動法人 多言語・多文化サポート ICHI		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	当団体は、外国人を主とするすべての人々が安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的とし設立したが、昨年度の事業を通し、当事者に聞きニーズを知る必要があると感じた。そこで、地域に暮らす外国人住民が必要としていることを聞き取り、その結果をもとに求められている支援と、それに対応できる支援者を増やすことを目的とした。
	内容	外国人住民が抱える言葉や文化の問題、生活の課題などを発掘し、まちづくりに必要な要素を把握するための調査を行う。(アンケート調査の実施) その結果から、地域でできる支援を知り問題解決を目的とした講習会とイベントを実施する。

活動実績	<b>1. アンケート調査</b>
	2021年5月-6月 計画の策定と準備
	2021年7月25日(日) アンケート作成協力者への聞き取り(1)
	8月1日(日) アンケート作成協力者への聞き取り(2)
	2021年8月-9月 アンケートの作成(翻訳)
	2021年10月 アンケート調査開始
	2021年11月 アンケート集計(翻訳)
	2021年12月 アンケート結果より講習会とイベントの企画開始
	<b>2. 講習会「通訳・翻訳セミナー」</b>
	2022年2月26日(土)21:00-22:20(オンライン会議システムを利用) 「やさしい日本語で通訳・翻訳のことを学ぼう！」 講師：川向洋子氏 参加者：35名
<b>3. イベント「多言語・多文化理解イベント」</b>	
2022年3月21日(月/祝)14:30-16:30 東大阪市文化創造館 「謎解き世界旅行」	

<p>目標</p>	<p>&lt;申請時&gt; 外国人住民 100 名以上のアンケート回収、講習会(1回)とイベント(1回)で合計 30 名の参加を目指す</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; 外国人住民 114 名からアンケート回収、講習会(1回)の開催(35名参加)、イベントは3月21日に実施予定。</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<p>アンケート作成前に聞き取りを行ったことにより、内容を細かく決めることができた。郵送での案内などもできたことにより目標を超える回答を得ることができた。回答には、「日本語を学びたい・外国人を助けるための多くの支援を行なってほしい」という支援を求める声がある一方で、「日本人と外国人の距離を縮めたい・日本人と仲良くなりたい」「国の習慣を理解してもらいたい・相手の立場から考えてみてほしい・差別しないしてほしい」といった日本人との距離があり関わりたいけれどもできていない現状があることが明らかとなった。また、回答数が多かった通訳・翻訳のセミナーを開催したところ、多くの申し込みがあった。アンケート調査結果が反映されたと思われる。また、3月に日本人への理解を促すためにイベントを開催する。地域に一人でも多くの理解者を増やし、よりよい地域になることを期待する。。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>アンケート調査より、地域で活躍したいと考えている外国人住民が多いことがわかった。(特に翻訳・通訳が多く、言語・料理・スポーツの講師もやってみたい等の回答が多かった) また、地域の行事への参加・ボランティア活動などもやってみたいという希望があった。そこで、彼らが活躍でき、かつ日本人住民とつながりを持てるような場所を作って行きたい。十分活躍できるようスキルアップの支援もできればと考えている。</p>	

\*活動内容がわかる写真を添付してください。



令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

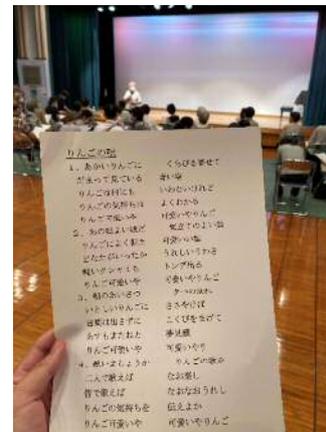
事業名	サロンとまり木（健脳教室）		
団体名	サロンとまり木		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	92,000 円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が気楽に集い交流を通じて絆を深め合う</li> <li>・高齢者が集い、認知予防・介護予防、体力作りを目指す</li> <li>・声を出して、共に歌う楽しさを味わう</li> <li>・健康維持の方策を学びあう</li> </ul>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コグニラダー運動、健脳エクササイズ</li> <li>・体操（つくく♂体操、ズンドコ節、サザエさん等）</li> <li>・懐かしい思い出の歌を歌う（四季の歌、リンゴの歌等）</li> <li>・高齢者の食生活について学ぶ</li> </ul>

活動実績	<p>◎場所 布施駅前リージョンセンター 多目的ホール</p> <p>毎月第3水曜日 午前10:00～11:00</p> <p>コグニラダー運動、健脳エクササイズ、体操、歌</p>
	<p>○実施済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月21日：参加者40名</li> <li>・8月18日：参加者30名</li> <li>・9月15日：参加者36名</li> <li>・10月20日：参加者41名</li> <li>・11月17日：参加者35名</li> <li>・12月15日：参加者34名</li> <li>・1月19日：参加者35名</li> <li>・2月16日：参加者30名</li> </ul> <p>○実施予定活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月16日 講演「高齢者の食生活」</li> </ul>

<p>目 標</p>	<p>&lt;申請時&gt; 毎月50名以内×8か月</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; 参加者 8回 281名</p>
<p>事 業 の 成 果 ・ 効 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所を公民分館から、布施駅前リージョンセンターの多目的ホールに変更したことにより、ソーシャルディスタンスを保つことができ、計画書通り活動を実施することができた。</li> <li>・コグニラダー運動により足を高く上げて歩く習慣が身につき、要介護状態を未然に防止できている。</li> <li>・健脳エクササイズにより、認知症予防ができている。</li> <li>・昔の懐かしい歌をみんなで歌うことで、楽しさを共有し思い出話につながっている。</li> <li>・元気な高齢者が増えて、ボランティア等の地域の担い手不足の解消につながっている。</li> <li>・毎月1回ではあるが集う場所ができ、参加者が健脳教室を楽しみにされていて、高齢者の絆が深まっている。</li> </ul>	
<p>今 後 の 事 業 展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月一回の日程と場所が定着したので今後も継続していきます。</li> <li>・コグニラダー運動や健脳エクササイズを中心に、気功など新たな取り組みにも挑戦していき、楽しく参加できる体力づくりを目指します。</li> <li>・参加者からの費用の負担も視野に入れ、いつでもどこでも歌える歌集を作り、サロンとまり木以外の活動にも利用してもらい、より絆を深めてまいります。</li> </ul>	

\*活動内容がわかる写真を添付してください。



## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	放課後ラグビー教室（コーディネーショントレーニング）		
団体名	NPO法人リード		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	運動神経が著しく発達する9歳～12歳頃の時期のことを「ゴールデンエイジ」と言われています。この時期に色々な運動を経験しておくことがその後の動作習得に大きな影響を及ぼすと言われています。そこで、私たちが活動している放課後ラグビー教室に通う子ども達がラグビーという特定のスポーツだけでなく、様々な動きを身に付けるコーディネーショントレーニングを専門的なトレーナーの指導によって取り組むことで、ラグビーの競技力の更なる向上や運動神経の向上に繋がることを目的としています。またコーディネーショントレーニングによって、身体の使い方や柔軟性を養い、長くラグビーを続けられるように怪我予防にも繋がることも目的です。
	内容	ラグビーという特定のスポーツだけでなく、様々な動きを身に付けるコーディネーショントレーニングを専門的なトレーナーの指導によって取り組む。

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間</li> <li>◆コーディネーショントレーニング</li> <li>・毎週月曜日 17:00~17:50</li> <li>※コロナの影響によりトレーナーの勤務体系に変更があり、月曜日は7月までの実施となった。</li> <li>・毎週木曜日 17:00~17:50</li> <li>・場所：小林整形外科</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆8月以降は毎週火曜・水曜日に活動している放課後ラグビー教室でも不定期で高学年中心のクラスでコーディネーショントレーニングに取り組んだ。</li> <li>・実施日時・場所</li> <li>毎週火曜日 19:00~/青赤クラス 東大阪市立八戸ノ里東小学校</li> </ul>

<p>毎週水曜日 18:15~/青赤クラス 東大阪市立小阪小学校</p> <p>◆土曜日に不定期でイベント教室として、コーディネーショントレーニング+ラグビー教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花園ラグビー場（練習 G）/HOS 花園スタジアム</li> </ul> <p>◆事業に関わった人数</p> <p>指導者：5名</p> <p>小林整形外科 トレーナー 筒井氏</p> <p>COLORS GYM 代表 上西氏</p> <p>アスレティックトレーナー 西川氏 計 8 名</p>
---

目 標	<p>&lt; 申請時 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーショントレーニング教室 →40名</li> <li>・ラグビー教室+コーディネーショントレーニング教室 →7日間×各10名ずつ</li> </ul>	<p>&lt; 事業実施後 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーショントレーニング教室 →25名</li> <li>・ラグビー教室+コーディネーショントレーニング教室 →合計68名</li> </ul>
	事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>ラグビーとプラスαでコーディネーショントレーニングに取り組んだことで、様々な体の使い方や動きを身につけることができていると思います。また、同じ動きばかりでなく変化を持った動きを繰り返すことで応用力のある動きができるようになっていました。また、参加者の子ども達が自宅でトレーナーからの受けた指導を継続して取り組むことがあったようで、子ども達の意欲・関心又努力する大切さも学ぶことができたと考えています。</p>

今後の事業展開

今年度はコーディネーショントレーニングを3～6年生を対象に実施したので、1・2年生や幼児の子ども達にも対象に実施していきたいと考えております。

\*活動内容がわかる写真を添付してください。





## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	石切地域活性化事業		
団体名	石切のわ		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	コロナ禍において昨年に引き続き、より強固な事業体制を整えるとともに、地域コミュニティにおける担い手創出と育成をワークショップを通じて行うことで、可視化された地域課題に対して解決を目指す新たな取り組みを生み地域の活性化を図る。また新たな取り組みを生むだけでなく、それを事業化し持続可能にすることも1つの目的とする。
	内容	様々な世代役割の人を共生させ地域活性化を図る手法としてのワークショップを軸に、地域の担い手創出と地域活性化に向けた事業に取り組むチームづくりを行った。また、活動の中で生まれた取り組みの1つをテスト事業として実施した。

活動実績	<p>【1年を通して取り組んだ活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生に向けた意見交換ワークショップのレクチャー →参加者平均9名×4回実施</li> </ul>
	<p>【ワークショップ開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力再発見まちあるきWS（10月2日） →参加者25名※感染予防対策の上、実施</li> <li>・意見交換会（10月26日） →参加者35名※感染予防対策の上、実施</li> <li>・事業発展WS（12月10日） →参加者20名※感染予防対策の上、実施</li> </ul>
	<p>【実施予定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン検討WS（3月13日）</li> <li>・成果報告会（3月下旬）</li> </ul>

目 標	<p>&lt;申請時&gt;</p> <p>ワークショップ参加：120名</p> <p>まちあるき参加：20名</p>	<p>&lt;事業実施後&gt;</p> <p>ワークショップ参加：80名</p> <p>まちあるき参加：25名</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>ワークショップの参加についてはコロナ禍が収束しなかったこともあり、想定を下回る参加者となったが、複数回実施する中で継続的に参加する方が現れ、自ら知人の若者を呼ぶなど能動的な参加が見受けられた。その後、地域に住む方だけでなく、石切地域に興味や思いのある20代の若者が参画するなど少しずつではあるものの、地域の担い手になるプレイヤーが集まっており、ワークショップにより様々な世代を巻き込み事業を継続してきた成果が出てきたことを実感した。また、具体的にはITに強い若者と大学生、地域商店街の若手によるYouTube配信というアイデアから今年度は試験的にショートムービーが制作され、次年度以降の事業の1つとして実現可能性の高いものとなった。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>今年度の流れから、ワークショップによる多世代・他分野のコミュニティ形成と新事業の発掘を継続しつつ、YouTube配信のように具体的に進み始めた取り組みが途切れないよう事業予算の検討も含めた計画を行う。また、それらの事業の中で地域の中で可視化されてきた魅力の再価値化と課題の総合的な解決を図ることを私共の目的として様々な事業に柔軟に取り組み、事業を発展させることで、当初から掲げていた「石切コミュニティモデル」となることを目指している。さらにはコミュニティビジネスとして事業の収益化を目指す。</p>	



令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	人とペットのぼうさい IN 東大阪		
団体名	ペット防災サポート協会関西支部		
助成区分	スタート	部門	助成金額 20万円

事業の目的・内容	目的	大規模災害が起きれば、避難所等ではペットの飼い主だけではなく様々な混乱が予想されます。コロナ禍においてもペットの飼い主が普段から準備しておく事などに気付き、避難先をいくつか考え、自助を強化してもらうことを目的としています。
	内容	ペット防災がペットを飼っているいないに関わらず知ってもらうために、人の防災もお伝えし、様々な方が防災・減災について知り、更にペット防災への理解を深めるきっかけにする内容のイベントを行いました。

活動実績	<p>令和3年11月28日ボランティア連絡会において災害研修会をさせていただきました。</p> <p>内容は「災害グッズの落とし穴」ということで携帯トイレの凝固剤を使った実験や日頃の備えの重要性、一度は防災グッズを試しておく事を使える物の準備をお伝えしました。</p> <p>令和4年3月6日八戸ノ里公園においてコロナ対策を行った上で「人とペットのぼうさい IN 東大阪」を屋外で行いました。集客も難しい形でしたが、約60名のご参加がありました。人の防災とペットの防災を知ってもらい、普段からのペットの適正飼養が防災に繋がるという啓発のイベントを行いました。</p>
------	---

<p>目 標</p>	<p>&lt;申請時&gt; 災害時の避難所ペット問題の 混乱を減少、取りこぼしの無い 避難の形をつくりたい</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; ご参加の皆様には、避難所だけではなく、分散して避難する形もあり一人一人が準備をして、周りと一緒に考えておくことを理解して頂けたと思います。</p>
<p>事 業 の 成 果 ・ 効 果</p>	<p>人の防災も同時に行うことで、飼い主以外の方のご参加も多くありました。どちらの立場の方にもペットと避難する難しさを知って頂けたのではないかと思いますし、地域での取り組みが急がれると気付いて頂けたと思います。</p> <p>避難所でペットの糞尿問題の解決策としてマナーパンツのお試しは特に効果的でした。沢山の方がこれを機に備えて下さることを願います。マイクロチップを入れているけれど、登録を行っていないと仰る方もいらっしゃり、今回ブースでの説明により、環境省指定の登録を実際に行って頂いたことも効果としてありました。</p>	
<p>今 後 の 事 業 展 開</p>	<p>今回の東大阪でのイベント開催がペット防災単独イベントのモデルとなったと思います。イベントを成功させて頂いたおかげで、これからもペット防災に興味を持っている企業、団体、市区町村などからのセミナーやイベント依頼も全国から増えてくると思います。今年1月に NPO 法人化も認可されましたので、更に活動の場を広げて邁進していきたく思います。</p>	



令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	みんなで作る長瀬のまち		
団体名	まなびや通りフェスタ実行委員会		
助成区分	スタート支部門	助成金額	180,000円

事業の目的・内容	目的	これからの長瀬のまちを支えていくためには、若い世代の力が必要であり、興味を持ち、住んだり、仕事をしたり、長瀬のまちに魅力を感じ、愛着を持ってもらう機会作りが必要であると考えました。今年度は新型コロナウイルスの影響のため、長瀬のまちを活用した集客イベントを見送り、魅力的な長瀬のまちを構築していく過程（模型作り）を通して、共有・発信していくこと。
	内容	昨年行った「長瀬オンライン座談会」から得た意見等をより具現化していくため、長瀬のまちを模型で再現、地域の方々が想像した未来の長瀬のまちをディスカッションイベントで語り合い、集約した長瀬のまちの模型展示、動画にて周知・拡散を行う。

活動実績	◆ワークショップ 1 回目 2021年10月2日（土）10：00～13：00
	◆ワークショップ 2 回目 2021年10月31日（日）14：00～17：00
	◆ディスカッションイベント 2021年11月2日（火）～3日（水）10：00～16：00
	◆長瀬のまちの模型 ブラッシュアップ 2021年12月19日（日）10：00～12：00 2022年1月16日（日）10：00～12：00
	◆未来の長瀬のまち 模型展示会 2022年2月6日（日）10：00～15：00

<p>目 標</p>	<p>&lt; 申請時 &gt; イベント参加人数：150 人</p>	<p>&lt; 事業実施後 &gt; イベント参加人数：約 50 人</p>
<p>事 業 の 成 果 ・ 効 果</p>	<p>東大阪市の G 地区、長瀬駅周辺のまちを模型で具現化することで俯瞰して自分たちのまちを見つめ直すことができた。それを基に未来の長瀬のまちを考えるキッカケを作ることができた。</p> <p>そして地域の方々から色々な意見を伺えたことで何が必要とされているのかが見えてきた。長瀬に無いお店、住みやすい環境、長瀬特有の魅力づくり（学生のまちである強みを生かした、学びや多文化の交流）など。</p> <p>まなびや通りフェスタ実行委員会で地域から意見を集約し、ビジュアル化していくことで、これからの目標の共有・協同を推し進めていく効果があったと考えます。</p>	
<p>今 後 の 事 業 展 開</p>	<p>まなびや通りフェスタ実行委員会は、未来の長瀬のまちに繋がる「地域と繋がるおしゃれな文化街」として、音楽や映画やアートなどを使ったイベントを仕掛け、長瀬の魅力づくりを促すとともに、多くのまちづくり支援者を集め、行ってみたいくなるまち、住みたいくなるまちを目指していきます。</p>	

\*活動内容がわかる写真を添付してください。







## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	菜の花フェス～ままのわを広げよう～		
団体名	スマイルマミー		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	18万 円

事業の目的・内容	目的	ままのわの SNS での活動だけでなく、子育て世帯同士のリアルでの接点を作るために、東大阪の子育て世帯をターゲットとしたイベントを開催。 子育て世帯同士の情報交換を可能にする。
	内容	令和3年11月8日(月)に 東大阪市文化創造館にて、 子育て世帯向けイベント「菜の花フェス～ままのわを広げよう～」を実施 イベント内にておもちゃリユース会を実施

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月8日第一回菜の花フェス実施後、イベントで集めたおもちゃ(253個)を東大阪市子育て支援センターへ寄付</li> <li>・11月8日のイベント開催に伴い「東大阪イベント情報 ままのわを広げよう」公式LINEを開設 イベント来場者にアンケートを実施 また東大阪市内で実施される子育てイベントをスケジュール毎月発信 (2月12日現在 155人の友達登録)</li> <li>・2022年2月13日 第二回菜の花フェスベルクラシック大阪にて開催予定だったが、まん延防止等重点措置発令により延期</li> </ul>
------	---

目標	<p>&lt;申請時&gt; イベント来場者数 300名(親子合わせて)</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; イベント来場者数 572名(乳児、幼児含む) ままのわ公式LINEの開設</p>
----	--	---

<b>事業の成果・効果</b>	<p>■菜の花フェス～ままのわを広げよう～ について  イベント当日は、予想を超える来場者数であった。  アンケート結果（イベント来場者の内、計47名が回答）では</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント全体の満足度 89.4%が非常に満足 or 少し満足 と回答。</li> <li>・菜の花フェスを通じて東大阪市の「地域まちづくり活動助成金制度」の存在を知り、東大阪市への好感を感じた と回答したのは95.7%。</li> <li>・菜の花フェスのようなイベントを増やしてほしい と回答したのは97.9%。</li> </ul> <p>コロナ禍でのイベント実施であることを鑑み、3密回避のためのWEB 事前来場予約システムを実施した。  事前来場予約者を増やすため、商品協賛企業5社を集め、事前予約者限定のプレゼントを実施。事前告知時点から来場者に対してきちんとそれらを周知できたことで、当日のイベント運営、人の動線の整理を的確に行えた。  おもちゃリユース会では、計253個のおもちゃを東大阪市子育て支援センターに寄付を行った。</p>
<b>今後の事業展開</b>	<p>■イベント実施について  来季以降もイベントを実施、おもちゃリユース会を継続することで、東大阪市の子育て世帯の満足度向上に寄与する。  また、協賛企業を増やし、金銭面で自立したイベント開催を目指す。</p> <p>■公式LINEについて  友達登録者数を増加させ、東大阪市内の各イベント（菜の花フェスに限らず）の告知、イベントの活性化を図る。  その他LINEを活用したママ向けの施策を検討、実施。</p>

\*活動内容がわかる写真を添付してください。



## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	新しい外国人との歴史・文化やモノづくりの見学会		
団体名	特定非営利活動法人東大阪国際共生ネットワーク		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	289,000 円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急増する新しい外国の人々と共に東大阪の文化やモノづくりの現地を巡り、地域の良さを知ってもらいながらアンケート等により、自分達の文化に対する思いや彼らの悩みなどを把握する。</li> <li>・その成果を四半世紀に及ぶ「東大阪国際交流フェスティバル」の新しい展開に生かすとともに、文化を通じた多文化共生社会実現に寄与する。</li> </ul>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東大阪市内の歴史・文化やモノづくりを体験できる見学会コースを設定し11月に2コース（記念館コース、モノづくりコース）で実施。2022年度2月にも2コース（ラグビー場コース、石切神社コース）を予定したが、新型コロナウイルスの急拡大により中止となった。</li> </ul>

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会の見学先事前調整と開催（記念館コース 2021.11.3 参加 35名：モノづくりコース 2021.11.20 参加 28名）、見学先実施報告の作成と送付</li> <li>・ラグビー場コース見学会事前調整、コロナ感染拡大で開催中止（2022.2.11 予定）</li> <li>・石切神社コース見学会事前調整、コロナ感染拡大で開催中止（2022.2.19 予定）</li> <li>・広報用チラシ（2種類）の作成（ベトナム語翻訳付）及び日本語学校、日本語教室、ベトナム料理店、公共施設等への説明と配布</li> <li>・参加者用コース MAP・コース説明資料（4コース分）の作成とベトナム語翻訳</li> <li>・参加者用アンケート（2種類）の作成とまとめ</li> <li>・記録用 DVD 映像作成の事前調整・撮影・編集（2021.11.3、2021.11.20）</li> <li>・大阪あそ歩等の講師、ベトナム語等の通訳者との打合せ</li> <li>・東大阪国際交流フェスティバル実行委員会への見学会協力依頼</li> </ul>
------	--

<p>目 標</p>	<p>&lt;申請時&gt; 参加者数：各コース 18名</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; 参加者数：第1回 35名 第2回 28名</p>
<p>事 業 の 成 果 ・ 効 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記念館コース等地域の良いところを外国人に紹介する見学会企画は効果が大きい。</li> <li>◆見学会を通じた国際交流はとても良い方法(アンケート回答 100%)</li> <li>◆地域の良いところを知ることは労働や勉強に役に立つ(〃 100%)</li> <li>◆モノづくりコースで工場や外国人労働者の様子を知り交流ができ、大変面白い(〃 100%)</li> <li>・東大阪国際交流フェスティバルの新しい展開に役立つ情報を得た。</li> <li>◆自分たちの国の自慢できる文化について日本人にも知ってほしいとの願いを参加者のほぼ全員が持っていたこと。</li> <li>◆広めたい自国の文化として「ベトナムの旧正月・食文化、踊り、人情」等を把握できたこと。</li> </ul>	
<p>今 後 の 事 業 展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会の成果について今後予定するシンポジウム等で確認しながら、文化を通じた国際交流を進めていく。また、2022年の東大阪国際交流フェスティバルにもつなげていく。</li> <li>・参加外国人の様々な悩み(「日本語が難しい」「40%の人は地域とのつながりが無い」「悩みを相談する相手は身近な人のみで公的な機関や団体に相談しない)」について、他のNPO法人とも連携した取組を検討していく。</li> </ul>	

\*活動内容がわかる写真を添付してください。

地域の外国の人たちとの歴史・文化やモノづくり見学会写真

第1回記念館コース 2021年11月3日(祝)



①集合してのガイダンス



②ZUNZO でおもちゃの説明



③世界の仮面を見る



④サブローごまのデザイン



⑤ベトナム人青年もできたデザインに満足



⑥司馬遼太郎記念館に向かう



⑦司馬遼太郎記念館外観



⑧緑の庭で説明



⑨書齋までの緑につつまれた道



⑩弥栄(いやさか)神社に参詣



⑪喫茶美術館の説明



⑫絵画や陶器に興味深々



第2回モノづくりコース 2021年11月20日(土)





⑩工作の様子



⑪子どもも一生懸命



⑫中国人女性も楽しそう



⑬完成したスマホ立て



⑭工場を記録する会からモノづくりを学ぶ



⑮記念写真



令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「てくてく健活教室」 障がい者の健康運動教室を通じたインクルーシブなコミュニティづくり		
団体名	ロンド健康運動プロジェクト		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	250,000 円

事業の目的・内容	目的	知的・発達障がいのある成人を主対象として運動不足解消・転倒予防を目的とした 健活コミュニティを育むと共に、障がい者本人とその家族、更に地域の人々の参加も促し、合理的配慮のあるコミュニティを醸成する。
	内容	障がいの有無にかかわらず楽しめる効果的な運動レクリエーション教室を開催。教室を中心として小さなコミュニティを形成し、そこに地域の方々（健常者）を取り込むことで既存コミュニティと障がい者の接点を作る。 教室運営の自立化を図り、持続可能なコミュニティとする。

活動実績	てくてく健活教室活動実績一覧				
	①てくてくラダー教室				
		活動日	時間	会場	参加者数
	1	2021/4/18	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	10
	2	2021/5/5	10:00-11:30	緊急事態宣言の発令に伴い活動休止	—
	3	2021/6/6	10:00-11:30	緊急事態宣言の発令に伴い活動休止	—
	4	2021/7/4	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	8
	5	2021/8/1	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	8
	6	2021/9/5	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	6
	7	2021/10/3	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	6
	8	2021/11/3	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	8
	9	2021/12/5	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	8
	10	2022/1/10	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	6
	11	2022/2/6	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	6
	12	2022/3/6	13:30~15:00	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	8
②てくてくチア教室（チアダンス体験会）					
	活動日	時間	会場	参加者数	
1	2021/7/24	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	6	
2	2021/11/23	10:00-11:30	東大阪市市民多目的センター	13	
3	2022/1/23	10:00-11:30	新型コロナウイルスの蔓延に伴い開催中止	—	
4	2022/2/20	10:00-11:30	新型コロナウイルスの蔓延に伴い開催中止	—	
5	2022/3/13	10:00-11:30	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	6	
③特別プログラム（対象：てくてくラダー教室のメンバー及びその家族）					
	内容	活動日	時間	会場	参加者数
1	ウォーキングプログラム	2021/10/31	10:30-12:30	天王寺公園～生魂國神社	11
2	新春食育ワークショップ	2022/1/23	13:00-15:00	新型コロナウイルスの蔓延に伴い開催延期	—
④研修会（対象：スタッフ・ボランティア）					
	活動日	時間	内容	会場	参加者
1	2020/11/3	13:30-15:30	ノルディックウォーキング研修①	毛馬桜ノ宮公園～淀川河川公園西中島地区	4
2	2021/12/5	13:30-15:30	ノルディックウォーキング研修②	天王寺公園～生魂國神社	5
3	2022/1/22	13:00-16:00	ラダー&スラックレール研修	東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ	3

<p>目 標</p>	<p>2022年3月時点の教室数 2会場、 登録メンバー数 20名（介助者を含む）</p>	<p>＜事業実施後＞ 教室数 1会場 メンバー数 10名（介助者を含む） ボランティア数 5名</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しいコロナ禍においてもラダー教室を継続し、成人知的障がい者とその保護者の心身の健康維持に貢献することが出来た。</li> <li>・ チアダンスやウォーキングなどのオープンプログラムを開催。プログラムを通して、様々な世代が集い、役割を持つことで、リアルなコミュニケーションを促し、コミュニティを育くむことが出来た。</li> <li>・ ボランティアを対象にした研修会を開催。今後の事業継続に資する人材に経験と試行の場を提供することが出来た。</li> </ul>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>①地道に教室を継続 楽観論に基づく事業の展開や拡大は控え、現在のメンバーを第一に考えた運動支援を地道に継続しながらコロナ禍を耐え抜く。</p> <p>②情報発信を強化 当団体の想いと活動をより多くの方に知って頂くために、広報媒体を見直し、より効果的な情報発信手段を選定し活用する。</p> <p>③事業内容の見直し 出張教室や外部指導など、これまで培った運動指導のノウハウを外部に提供し、新しい繋がりを生む。</p>	

\*活動内容がわかる写真を添付してください。



## 令和3年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	2021年東大阪中・高校生演劇ワークショップ		
団体名	東大阪中・高校生演劇ワークショップ実行委員会		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	183,000円

事業の目的・内容	目的	近年、社会の高齢化と核家族化により、高齢の方が中・高校生と接する機会が少なくなっている。老人ホーム等では、保育園や小学生とのかかわりはあっても、中・高校生と一緒に何かをするということがあまりない。演劇ワークショップでは、東大阪在住の講師を招いて実際に演技指導をしていただいたり、発表公演のチラシを近隣の老人ホームに配布して、見に来ていただくことで、演劇の力で世代間の交流をはかる。
	内容	7月27日(火)～8月1日(日)で、午前中にワークショップを行い、午後は最終日の発表公演に向けての練習をし、最終日に発表公演を行う。

活動実績	7月27日(火)10:00~12:00 体を使った演技の練習(講師:小林桃子) 13:00~16:00 公演に向けての練習
	7月28日(水)10:00~12:00 インプロゲーム(講師:橋本匡市) 13:00~16:00 公演に向けての練習
	7月29日(木)10:00~12:00 発声指導等(講師:盛加代子) 13:00~16:00 公演に向けての練習
	7月30日(金)10:00~12:00 南京玉すだれ(講師:中谷玲子他4名) 13:00~16:00 公演に向けての練習
	以上 <u>ユトリート東大阪</u> 大会議室
	7月31日(土)10:00~16:00 公演に向けての練習 <u>東大阪市立荒本人権文化センター</u> 大会議室
	8月1日(日)10:00~16:00 公演準備と公演 <u>楠根リージョンセンター</u> 多目的ホール
	ワークショップ参加者 中学生5名、高校生2名
	スタッフ18名、観客25名

<p>目 標</p>	<p>&lt;申請時&gt; ワークショップ参加者：25名 観客：50名。</p>	<p>&lt;事業実施後&gt; ワークショップ参加者：7名 観客：25名</p>
<p>事 業 の 成 果 ・ 効 果</p>	<p>南京玉すだれの講師として、中谷さんはじめ4名の東大阪在住の講師を招いて実際に演技指導をしていただいた。また、発表公演のチラシを近隣の老人ホーム等四十数か所に配布した。観客の中には高齢の方が散見され、中・高校生の演劇を熱心に観劇されていた。</p>	
<p>今 後 の 事 業 展 開</p>	<p>この事業を持続可能なものにしていくために、さらに地域に根ざした取り組みとしたい。また、老人ホーム等にもっと以前から宣伝するなどして、より多くの方にこの事業を知ってもらう必要がある。</p>	

